

こんにちは 野々市市議会です



「ジンベイザメとクラゲ」

【石川県立明和特別支援学校 小学部6年】

9月定例会議案審議・議決結果一覧2P
各委員会の主な質問と答弁3P
9月定例会一般質問 8人5P
視察報告13P
高校生議会の開催結果14P
12月定例会日程16P

9月補正予算案、令和5年度各会計決算認定審査で活発な議論 新型コロナ予防接種定期接種開始 武道館に空調設備を整備



野々市市武道館

令和6年第3回9月定例会は、9月2日から27日まで開かれました。9月定例会では、1億7,207万6千円の補正予算議案、令和5年度の各会計決算認定議案の審査で活発な議論が行われ、市長提出議案12件を全会一致または賛成多数で可決、認定、同意しました。

補正予算の主な事業内容は、新型コロナウイルス感染症予防接種の定期接種委託料をはじめ、野々市中学校の柔道部・剣道部の部活動や授業の代替場所などで利用している武道館の暑さ対策として空調設備整備、郷土資料館で各種XR（クロスリアリティ）技術を活用した観光コンテンツ開発を行う事業者を支援する補助金、都市公園10箇所の遊具更新などです。

議決結果一覧

○=賛成、×=反対、退=退席
※所属会派は議決時点での会派を記載しています。
※会派等の名称：あおば（あおばの会）、共（日本共産党）、令（令和清米）、無（無名）、み（みのりの会）、公（公明）、議（議長）、副（副議長）

番 号	件 名	議 決 日	議 決 結 果	野々市フォーラム								あおば		共	令	無	み	公	議	副
				三納昭博	田中陽子	畠中勝己	小堀孝史	向田誠市	中村義彦	中村和流	西村雅博	岩見政之	西本政之	朝倉雅三	梅野智恵子	木谷直子	北村大助	安原透		
議案第51号	令和6年度野々市市一般会計補正予算（第3号）について	9月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
議案第52号	令和5年度野々市市一般会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○			○	
議案第53号	令和5年度野々市市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○			○	
議案第54号	令和5年度野々市市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○			○	
議案第55号	令和5年度野々市市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○			○	
議案第56号	令和5年度野々市市墓地特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	
議案第57号	令和5年度野々市市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	9月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	
議案第58号	令和5年度野々市市水道事業会計決算認定について	9月27日	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○			○	
議案第59号	令和5年度野々市市公共下水道事業会計決算認定について	9月27日	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○			○	
議案第60号	野々市市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	9月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○			○	
議案第61号	事務の相互委託の廃止について	9月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	
議案第62号	野々市市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	9月2日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	
議会議案第4号	少人数学級・教職員定数の改善を求める意見書	9月27日	否 決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×			×	
議会議案第5号	北陸新幹線の早期全線整備を求める決議	9月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	退	○			○	

※議長は採決に加わりません。

各委員会の主な質問と答弁

9月12・13・17・18・26日の5日間

予算決算・総務産業・教育福祉常任委員会

Q 学校や市民体育館等の施設よりも先に武道館に空調設備を整備することとした理由は。

A 剣道や柔道の団体のみではなく、野々市中学校の授業の代替場所としても利用されており、部活動でも利用されていることから、その他の施設よりも先行して整備する。

Q SDGsアクションカードゲームのいち版の開発後、どのように活用し、どのような成果があったのか。今後、どのように活用していくつもりか。

A ののいち版のゲームは、野々市市の課題を魅力等で解決していくもので、これまで市民向けワークショップやSDGs研修等で活用している。ののいち版のゲームを通じて、野々市市で起こっている課題や野々市市の魅力・強みを知ってもらうために、更に活用していきたい。



THE SDGs アクションカードゲーム X (クロス)
(金沢工業大学開発)

Q 令和5年度はふるさと納税による寄附が好調だったが、一番人気の返礼品と、その寄附金額は。

A 一番人気はコストコホールセールジャパン株式会社野々市倉庫店のクーポン券（会員権）となっており、寄附件数は2,349件、寄附金額は5,174万1千円。

Q 自主防災組織53団体のうち、自主防災組織資機材整備事業

補助金を申請した団体数は、令和5年度の総補助金額が230万2千円となっているが、どのような資機材の整備に係る申請があったのか。

A 補助金申請団体数は、令和5年度が20団体、令和4年度が11団体。令和5年度はヘルメット、トイレ処理セット、防災倉庫、リヤカーなどの整備に係る申請があった。

Q ごみ集積所に排出された違反ごみの処分までの流れと、処分かかる費用は。

A 町内会に設置されたごみ集積所に不適正に排出された特定家電品（テレビ、エアコン、冷蔵庫など）やバッテリー、消火器、タイヤといった、本来、町内会では収集できない違反ごみは、委託業者に依頼して、年2回、一斉処分を行っている。委託料と家電リサイクル券の金額分を委託業者に支払っており、令和5年度の委託料は12万9千円。



こどものまち BomBomTown

Q 育児世代向け消費者教育の事業費が216万円となっているが、消費者教育推進情報誌（Choco）の作製費と体験型消費者教育事業（こどものまち BomBomTown）の事業費はそれぞれいくらか。

A Chocoは年2回発行で作製費は108万円。こどものまち BomBomTown は2日間開催で事業費は108万円。



中村 和流 議員
(あおばの会)

「市民体育館」を全天候型の 子育て支援施設に改修しては

「野々市中央公園拡張整備事業」で 屋内スポーツ施設の供用後に検討

Q 国から交付を受けた市の「森林環境譲与税」の用途は。
A 市長 ●今年度、県産材の柱への補助金制度を新設した。又、改修中の文化会館フォルテで県産材を利用した羽目板や大ホール前の待合スペースに設置するベンチなどに活用する。(仮称)野々市つばきの杜センター整備事業や市立保育園で、県産材による内装を検討する。

Q 市民体育館の将来活用について
A 2023年5月に実施した「野々市中央公園拡張整備事業に係わる市民アンケート調査」で望む施設第1位は「天候に左右されず安心して子どもを遊ばせることができる施設」49.8%でした。本市で「全天候型の子育て支援施設」を作らば、市民体育館の改修が最良と考える。

Q 市民体育館の改修が最良と考える。
A 市長 ●「野々市中央公園拡張整備事業基本計画」で屋内スポーツ施設を供用開始した後に、新たに整備する施設を検討する。

Q 市民体育館の改修が最良と考える。
A 市長 ●「野々市中央公園拡張整備事業基本計画」で屋内スポーツ施設を供用開始した後に、新たに整備する施設を検討する。

●容器包装プラスチックを
常時回収(時間限定含む)
実施している県内自治体

	場所	時間
内灘町	常設リサイクル ステーション(役場地内)	9時～20時
能美市	ふれあいリサイクル センター(寺井)	土・日曜日 9時～12時
	辰口リサイクルセンター	日曜日 9時～12時



能美市・辰口
リサイクルセンター

Q 容器包装プラスチックを、市役所東のエコステーション等で回収することを要望する。
A 地域政策部長 ●容器包装プラスチックは、家庭での保管スペースの問題からエコステーションでの回収を望む市民の声を聞いている。しかし、回収した容プラの保管方法や、スペースの不足、立ち合い作業員の対応など課題があり未実施。「環境審議会」等で回収場所、回収方法を検討する。

Q 都市計画道路「堀内上林線」で、未着手部分の「下林西交差点」～「中林四丁目交差点」と「中林二丁目交差点」～「上林交差点」の2本の路線の事業化の時期は。
A 土木部長 ●今年度事業認可に向けた予備設計業務を発注している「中林四丁目」～「聖覚寺」が完了後、概ね7年後に着工したい。

Q 都市計画道路「堀内上林線」で、未着手部分の「下林西交差点」～「中林四丁目交差点」と「中林二丁目交差点」～「上林交差点」の2本の路線の事業化の時期は。
A 土木部長 ●今年度事業認可に向けた予備設計業務を発注している「中林四丁目」～「聖覚寺」が完了後、概ね7年後に着工したい。



補聴器は3g以下の
精密機器

Q 高齢者の補聴器購入費用の助成
A 高齢者が「補聴器」を使用する事は、聴力低下による認知症やフレイルを予防し、社会参加の促進につながる。高齢者の補聴器購入の助成は全国で237自治体となっている。高齢者の補聴器購入費用の助成を提案する。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、<https://youtu.be/kXLztN2JCQ8>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

A 各地区の意向を確認して開催している。開催地区を増やすよう努めていきたい。

Q 通いの場におけるフレイル予防講座(ポピュレーションアプローチ)を令和5年度に下林、栗田、押越の3箇所で開催しているが、開催地区の選定の経緯は。



ののいち日本語教室

Q 外国人のための日本語教室を毎週開催しているが、参加人数、委託事業者数、事業費は。
A 学習者は現在12名で、日本語を教える日本語サポーター(ボランティア)は17名。野々市市国際友好親善協会への委託事業となっており、事業費は9万9千円余り。

Q 野々市市社会福祉協議会への委託事業である地区ネットワーク会議を令和5年度に18回開催し、事業費が735万円となっているが、事業の詳細を伺う。
A 本町地区は高齢者と子どもの交流の問題について6回開催、富奥地区は一人暮らし高齢者の問題について1回開催、郷地区は高齢者等のごみ出しの問題について8回開催、押野地区は老人クラブの会員減少の問題について3回開催。事業費は、地区ネットワーク会議を行う野々市市社会福祉協議会の職員の人件費である。

Q 食生活改善推進員の主な活動場所は。
A 令和5年度は、市内保育園4園の年長児を対象とした講話、中央児童館との合同での小学生を対象とした講話と調理実習、公民館や寿大学院受講生を対象としたフレイル予防の講話と調理実習を行った。活動の幅を広げて、食生活改善推進員の活動を知ってもらうように取り組んでいるところである。

Q バス運転手の確保が難しい状況になっているが、コミュニティバスのつての運転手においてはどのような状況か。
A 令和6年春に働き方改革に伴い運行を維持するためのダイヤ改正等を行ったが、バス運転手の人材確保は深刻な問題となっている。
Q 公園の遊具の数を減らしているのか維持していくのか、今後の方針を伺う。
A 公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化等により危険な遊具の撤去を予定している。



食生活改善推進員の活動

人事
野々市市教育委員会委員
宮川美保子(上林三丁目)

A ふれあい教室では、畑・花壇づくりやスポーツ活動、フリーベンチ活動など楽しい体験活動等を含め、様々な活動を年間計画に基づき実施している。友達や指導員等と触れ合ったりする中で笑顔も増え、自信につながり、学校復帰をする子どももいる。

Q 野々市市教育センターのふれあい教室で児童生徒の社会的な自立に向けての支援を行っているが、どのような成果があったか。
A 令和7年度予算で新しい端末を購入する計画をしており、令和8年度から使用を開始する方向で考えている。

Q 小中学校の学習者用タブレット端末の更新時期が来るかと思うが、更新の計画を伺う。
A 令和7年度予算で新しい端末を購入する計画をしており、令和8年度から使用を開始する方向で考えている。



西村 雅博 議員
(あおばの会)

墓石耐震化の取組みについて 市長の見解を伺う

耐震化促進に関する市民への 情報提供が必要である

Q 総合計画において「安定した行財政の推進」を進めている

A 地域政策部長 ● 現時点において耐震化に関する補助制度の創出は考えていない。まず耐震化の方法について周知を図る。



地震で倒壊した墓石

Q 令和6年能登半島地震で多く墓石が倒壊した。墓石の耐震化について市長の見解を伺う。

A 地域政策部長 ● 墓石の耐震化に向けた取組についてはご家族やご先祖が眠る場所を守るためにも大切であると思う。今後は市ホームページや広報などを活用し耐震化の方法などを含め、市民周知を図りたいと考える。

Q 令和5年度決算について

A 市長 ● 物価高騰などの社会変容や市民の価値観多様化に伴う様々なニーズにより、行政需要が高まっている。経常経費の上昇は避けられない状況であるが、事業のスクラップアンドビルドを徹底し経常経費の増加抑制に努める。

Q 令和8年度までに経常収支比率93・0%以内としているが具体的な取組について市長の見解を伺う。

A 市長 ● 令和3年度から令和5年度を「財政健全化集中期間」とし新たな財源確保や事務事業の見直しを行い経常経費の増加抑制に努めた。予算編成の見直し、施策的事業のヒアリングや事業のブラッシュアップする事で精緻な予算編成となるよう取り組んでいる。

Q 令和8年度までに経常収支比率93・0%以内としているが具体的な取組について市長の見解を伺う。

A 市長 ● 令和3年度から令和5年度を「財政健全化集中期間」とし新たな財源確保や事務事業の見直しを行い経常経費の増加抑制に努めた。予算編成の見直し、施策的事業のヒアリングや事業のブラッシュアップする事で精緻な予算編成となるよう取り組んでいる。

Q 本市においては、「部活動に於ける持続可能な体制づくり推進計画」を策定し部活動地域移行を進めている。文部科学省が提唱する改革推進中間年度として、本市

A 総務部長 ● 令和6年4月より改正労働基準法に基づき罰則付き時間外労働の上限規制の適用に合わせ、公共工事の週休2日にする仕組みを進めている。令和5年度は発注工事の約半分51件で週休2日が実施された。令和6年度においては、原則週休2日の工事発注を行っている。今後も公共工事の発注時期の平準化を図る事で企業の後押しを考えている。

Q 国は公共事業を受注する建設業者の「働き方改革」の一環として、改正品確法での週休2日を地方行政の責務としている。本市における実績について、市長に伺う。

A 総務部長 ● 令和6年4月より改正労働基準法に基づき罰則付き時間外労働の上限規制の適用に合わせ、公共工事の週休2日にする仕組みを進めている。令和5年度は発注工事の約半分51件で週休2日が実施された。令和6年度においては、原則週休2日の工事発注を行っている。今後も公共工事の発注時期の平準化を図る事で企業の後押しを考えている。

Q 国は公共事業を受注する建設業者の「働き方改革」の一環として、改正品確法での週休2日を地方行政の責務としている。本市における実績について、市長に伺う。

A 総務部長 ● 令和6年4月より改正労働基準法に基づき罰則付き時間外労働の上限規制の適用に合わせ、公共工事の週休2日にする仕組みを進めている。令和5年度は発注工事の約半分51件で週休2日が実施された。令和6年度においては、原則週休2日の工事発注を行っている。今後も公共工事の発注時期の平準化を図る事で企業の後押しを考えている。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://youtu.be/fXj1lJZSduM>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



岩見 博 議員
(日本共産党)

明倫高校前横断歩道に 歩行者用信号機の設置を

明倫高校や地域の方々と協議し、 警察に新設を要望していきたい

Q 高校生議会で、高校生議員から「明倫高校前の横断歩道に信号機を」の要望があった。私も横断しようとしている高校生がいるにもかかわらず一旦停止しない車が多く、何台もの車がパトカーに止められている光景を目撃している。高校生の安全、命を守ることを第一に考えると解決策は歩行者用信号機の設置しかない。早期に信号機の設置が実現するよう尽力すべきではないか。



明倫高校前横断歩道

第一に
高校生の安全、命を守ることを

Q 高校生議会で、高校生議員から「明倫高校前の横断歩道に信号機を」の要望があった。私も横断しようとしている高校生がいるにもかかわらず一旦停止しない車が多く、何台もの車がパトカーに止められている光景を目撃している。高校生の安全、命を守ることを第一に考えると解決策は歩行者用信号機の設置しかない。早期に信号機の設置が実現するよう尽力すべきではないか。

Q 最近制服のポロシャツも値上がりし、1枚1000円近い。そういうところが、議員さんにちゃんと届いているのかな、と心配になります」と訴える小学男児のお母さんからお葉書をいただいた。お話を伺うと、学校教材・学用品の保護者負担について、「授業でほんの一時、数時間しか使わないのに購入せざるを得ない物がある」「子どもが2人、3人になると本当に大変だ」とのこと。憲法第26条は「義務教育は、これを無償とする」と明記している。無償化できないというのであれば、例えば、同時に使用することが少ない物は学校で所有するなど、保護者負担をできるだけではなく考える必要があるのではないか。

Q 最近制服のポロシャツも値上がりし、1枚1000円近い。そういうところが、議員さんにちゃんと届いているのかな、と心配になります」と訴える小学男児のお母さんからお葉書をいただいた。お話を伺うと、学校教材・学用品の保護者負担について、「授業でほんの一時、数時間しか使わないのに購入せざるを得ない物がある」「子どもが2人、3人になると本当に大変だ」とのこと。憲法第26条は「義務教育は、これを無償とする」と明記している。無償化できないというのであれば、例えば、同時に使用することが少ない物は学校で所有するなど、保護者負担をできるだけではなく考える必要があるのではないか。

A 市長 ● 走行中の車がなかなか止まってくれないということを知っている。野々市明倫高校や地域の方々と協議し、警察に新設の要望を行っていききたい。

Q 若いお父さんから「周りは学校給食も保育料も無料が当たり前になってきているのになんで野々市はしないんですかね」という声をお聞きした。夫婦で働き、家のローン返済しながら子どもを育てるのは経済的にも大変なことは手に取るように分かる。こうした子育て世代の声に応えて、ゼロ歳児から2歳児までの保育料を完全に無料にできないか。

A 健康福祉部長 ● 今年1月に、所得制限年齢制限なしで第2子半額、第3子以降無料に拡大したところ。完全無料にすることは考えていない。



Q 若いお父さんから「周りは学校給食も保育料も無料が当たり前になってきているのになんで野々市はしないんですかね」という声をお聞きした。夫婦で働き、家のローン返済しながら子どもを育てるのは経済的にも大変なことは手に取るように分かる。こうした子育て世代の声に応えて、ゼロ歳児から2歳児までの保育料を完全に無料にできないか。

A 教育長 ● 教材・学用品を選定する際は、原則として「個々の児童生徒に返るもの」としており、共用で使用する学用品については、可能な限り学校予算で購入している。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://youtu.be/EvoMRBLIXw>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



中村 義彦 議員
(野々市フォーラム)

旧北国街道の賑わい創出のためじょんからまつりの今後の在り方を考える機会を設けよ

じょんからまつりの会場を含めた在り方について広く議論することを期待する

- Q** 観光物産協会自主財源確保のため旧大倉外科跡地での屋台村設置の考えは
- A** 観光物産協会独自の自主財源が必要と考えるが旧大倉外科跡地の活用を図る意味も含め屋台横丁設置、運営による自主財源確保の考えはない。
- Q** 観光物産協会独自の自主財源が必要と考えるが旧大倉外科跡地の活用を図る意味も含め屋台横丁設置、運営による自主財源確保の考えはない。
- A** 市長 ● 観光物産協会の自立した経営を図るため、自主財源確保など経営体質の強化は大変重要である。屋台横丁は地域で熱意のある方々が取り組む事例が多く野々市市においてもそのような機運が盛り上がりが必要なら支援についても検討していきたい。
- Q** じょんからの里マラソン大会のコースの変更の考えは
- A** 北国街道のPRもかねて野々市市の歴史的景観の残る旧北国街道を通るコースの設定を考えてみればどうか。市民も声援を送りやすく再考すべきと考えるが、市長の考えを問う。
- A** 教育部長 ● 令和3年度より日本陸上競技連盟公認コースとして認定を受けており当面は現

- Q** 在のコースで実施していきたい。しかし、ランナーにとって魅力あるコースを用意することは野々市市のPRにもつながるのでコースを変更した場合のメリット、デメリットを関係機関と協議の上、総合的に判断していきたい。
- Q** 能登半島地震を教訓とした防災訓練を行うべきと考えるが、市長の思いはどうか
- A** 今回の能登半島地震の発生時に災害現場において様々な形で地元自治会、隣近所、個人による避難所が開設され自助、共助がいかに重要であるか分かった。そこで身近な場所での避難所の開設訓練を行うべきと思うが市長の考えを問う。
- A** 市長 ● 防災士や、自主防災組織など地域の特性や実情にあった要望を取り入れた防災訓練を行いたい。
- Q** 中央公園拡張計画に伴うスポーツ施設建設についての市長の考えを問う
- A** スポーツ施設建設は当初の計画から縮小されたが建設費は議会としても民間企業の資金の利用



会場レイアウト図 (案)



旧北国街道での踊り流し

- A** 市長 ● 事業推進には官民連携の手法についても検討し様々な機会を捉えて、私からも積極的に働きかけを行いたい。
- A** 市長 ● 事業推進には官民連携の手法についても検討し様々な機会を捉えて、私からも積極的に働きかけを行いたい。



代表質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/k-lQzD8na-o>

代表質問のページは、各会派の責任により編集されています。



西本 政之 議員
(令和清栄)

カスタマーハラスメント防止条例を制定せよ

本市単独で条例を制定することは現在考えていない

- Q** カスタマーハラスメント(カスハラ)とは、顧客からの著しい迷惑行為、たとえば、常識を超えた不当な要求や、過剰な対応を求める行為のことを言う。このカスハラが大きな社会問題となっている。ある調査では、コロナ禍以降に職場で受けたハラスメントのトップはパワハラで、次いでカスハラとなっている。カスハラの種類には、暴言・説教・同じクレームの執拗な繰り返し・威嚇・脅迫・勤務先への不当な苦情・長時間の拘束などがある。このような不当・悪質なクレームから職員・従業員を保護することは、労働契約法第5条の使用者の安全配慮義務に含まれる。事業者として、カスハラを容認することは、労働者の人権保障の観点から大きな問題があり、カスハラ対策は急務と言える。暴行・障害・脅迫・強要・名誉棄損・侮辱・業務妨害・不退去などのカスハラ行為については、刑法や軽犯罪法などで規制されているが、刑法に触れない程度の迷惑な言動や、過度な要求に対する法的な規制はない。また、労働法の関係でも、パワハラ・セクハラについては事業者に対する策の策定が義務付けられている

- が、カスハラについては義務付けられていない。厚生労働省の「カスタマーハラスメント対策企業マニュアル」では、カスハラは判断基準や企業の取り組みのメリット等について記載されている。しかし、カスハラを禁止するものではない。一般常識を超えたカスハラから職員・従業員を守ることは、優秀な人材の確保にも繋がると考える。そのために、カスハラ根絶を謳う条例を制定すべきと考えるがいかがか。
- A** 市長 ● カスタマーハラスメントは従業員の仕事環境を脅かすとともに、企業の事業の継続にも影響を及ぼす深刻な問題であると認識している。令和4年に厚生労働省が「カスタマーハラスメント対策企業マニュアル」を公表し、令和5年には旅館業法の改正、同年の国土交通省の省令改正など、関係法令の整備も徐々に進んできた。このような社会の動きのなかで、各企業においても毅然とした態度を示すようになってきており、大手企業が具体的なカスハラ対策を講じる事例も増えてきた。カスハラ対策は社会全体で対応すべき問題であると思っております。

- り、本市単独で条例を制定することは現在考えていないが、啓発などについては、しっかりと取り組んでいきたい。
- Q** スクールロイヤーとは、学校・教育委員会・学校法人に対して、学校で発生するいじめ・不登校・学校事故などの問題について助言・アドバイスする弁護士のことである。スクールロイヤーの主な活動内容は「助言・アドバイス」、「保護者対応」、「研修業務・出張授業」である。本市の教育現場の状況から一日も早いスクールロイヤーの導入が必要と考えるがいかがか。
- A** 教育長 ● 本市では、教育委員会が学校から相談を受け、弁護士との連携が必要と判断した事案については、弁護士に相談することとしている。学校における法律の専門家の更なる活用の仕方については、今後も引き続き検討していく。問題の発生を未然に防止したり、迅速・的確に対応できる教職員の指導力や組織力の向上についても併せて検討することで、安全・安心な学校づくりを目指していきたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/md0aNWYDE1M>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



木谷 直子 議員
(公明)

LINEを活用し、オンライン申請「ぴったりサービス」の利用促進をするべきだ

市公式LINEから「ぴったりサービス」※に移動する機能を導入する準備を進める

- 「マイナ保険証」の普及と利用促進等について**
- Q** 12月のマイナ保険証移行に向け強力に広報活動を推進し、情報発信に取り組むべきだ
- A** 健康福祉部長 ● 7月にはリーフレットを個別に送付したり、9月号の広報にも特集記事を掲載するなど周知に努めている。市民からの問い合わせにも丁寧に対応し、混乱のない円滑な制度移行に努める。
- Q** マイナ保険証を使用するには利用登録が必要です。手続きは、①医療機関②マイナポータル③セブン銀行のATMで行えます。
- A** マイナンバーカードを使用した医療DXを推進し、市民の健康と利便性向上に活用すべきと思うが、現状と今後の方針を伺う。
- 市長** ● 自治体や医療機関等をつなぐ情報連携システム（PMH）は市民の利便性向上が期待される。現在、全庁的な住民情報システムの改修に取り組んでいるところであり、この改修後に、導入に向け検討していきたい。加えてPMHの運用には、医療機関をはじめ、

- 市民の皆様への十分な事前の周知期間を設けたうえで、準備を進めていく。
- Q** 来庁が困難な方への「施設等に対するマイナンバーカードの取得支援」の取組状況を伺う。
- A** 市長 ● 本市ではマイナンバーカード申請を希望する団体や施設から依頼があった際に、市職員が出向いて申請をサポートする「出張申請サポート」を実施している。引き続き、支援制度の周知と希望者への支援を行っていきたい。
- 聴覚補助器等の積極的な活用について**
- Q** 高齢者に、聴覚補助器の情報が試せる機会を提供し、自分に合った聴覚補助器を適切に選択できる環境整備をすべきだ。
- A** 健康福祉部長 ● これまでも「聞こえの相談会」を実施してきた。今後も地域サロンや、10月に開催予定の「ふくしフェス」などの機会を通じ、情報提供に努める。
- Q** 従来のイヤホンよりメリックトの多い軟骨伝導イヤホンがある。高齢者の多く利用する窓口などに、窓口用軟骨伝導イヤホンを導入すべきだ。

- A** 健康福祉部長 ● 平成20年より、福祉総務課の窓口カウンタに磁気ループ補聴システムを設置している。また窓口では、口頭での説明に加え、タブレットの音声認識機能を活用し、説明内容を画面に表示される文字と合わせて示すなど、わかりやすい対応に努めている。
- 市公式LINEの機能拡充について**
- Q** 市民から情報を受けたり、利便性向上のために活用すべきだ。道路の陥没や破損箇所を通報できる機能を導入してはどうか。
- A** 地域政策部長 ● 現在の本市の契約では、市へ情報提供できる機能を利用することができず、利用するためには、設定変更とそれに伴う費用が必要となる。今後、効果的な活用方法、代替システムの有無などを含め調査・研究していく。
- ※ぴったりサービスとは、マイナンバーカードを利用し、オンラインで行政手続きができる方法。現在本市では、児童手当の現況届や介護認定の申請などの手続きに利用でき、今後さらに利用できるサービスが追加されていきます。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/tUQEwe2Umyl>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



梅野 智恵子 議員
(みのりの会)

民法(家族法)等の一部を改正する法律の意義について本市の考えを伺う

共同親権とする選択が可能になり、子の利益を守ることに繋がると認識している

- 「民法等の一部を改正する法律」**
- 2024年5月に国会にて成立し、離婚後も父母が共同で親権を持つ「共同親権」が導入され、2026年5月までに施行される予定です。
- これまでは離婚後は一方が親権を持つ「単独親権」が原則でしたが、今回の改正で共同親権が選べるようになります。改正は子どもの利益を守るために、親権や養育費、親子交流などの規定を見直したものです。
- 運用方法や体制の整備が引き続き検討されます。
- Q** 未成年の子を養育中の父母から離婚届が提出された場合、本市としてどのような新たな対応や支援体制を整える予定か伺う。
- A** 市長 ● 現在必要に応じて子育て支援課に配置している、母子・父子自立支援員や、弁護士による無料法律相談など関係機関へのご案内をしている。今後も国の動向を注視し、適切な対応ができるよう環境を整えてまいりたいと考えている。
- 離婚後および婚姻外の共同親権導入等 民法（家族法）改正について**

- 本市選挙管理委員会発行の投票済証について**
- Q** 市選挙管理委員会が発行する投票済証の希望者数、発行数ほどの程度か。また市民の認知度について感触を伺う。またのつティなどを用いた野々市市らしい独自デザインの投票済証の発行を検討してはどうか。
- A** 総務部長 ● 発行数は毎回「10件程度」となっている。このことから投票済証明書の認知度は低いものであると推察している。「投票済証のデザインの見直し」については他自治体の選挙管理委員会の状況を参考にしつつ、市の選挙管理委員会や明るい選挙推進協議会にご意見を伺いながら検討してまいりたい。
- めざせ投票率アップ！
「四條畷八景」が描かれたポストカード型の投票済証を配布
- 大阪府四條畷市選挙管理委員会発行の
ポストカード型の投票済証

- 防災士のスキルアップ研修について**
- Q** 防災士に対し、県のスキルアップ研修のほか、本市独自の取組として市民力ウンセラー連続講座と連携し、コミュニケーションスキルを磨く機会を提供してはどうか、本市の見解を伺う。
- A** 市長 ● 防災士には、防災や防災減災のための知識や技能を身につけることが求められており、市や防災士会が協力して独自に開催する研修会への参加もお願いしているところである。今回発生した能登半島地震において、不安から精神的に孤立する避難者が多く見受けられた。避難者の疑問や不安を解消するために、防災士が気軽に声をかけ、聞くことのできるコミュニケーションスキルも大変重要であることが再認識された。市民力ウンセラー講座については、「傾聴」に関する心構えだけではなく、「ロールプレイ」を重点に行うことで望ましいコミュニケーションスキルが身につくと伺っている。今後防災士の研修にも取り入れることができないか、関係者と協議してまいりたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/Z4BuOhRijrs>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



安原 透 議員

自主防災組織に対する訓練支援の充実について資機材の補助と共に訓練費用にかかる補助制度の充実を

自主防災組織の充実を図るため、現在の補助制度の対象を拡大することができないか検討していきたい

中学校用教科書の採択について

Q 今年度、令和7年からの使用教科書の採択にあたり、教科書採択までの流れについて伺う。

A **教育部長** ●市立中学校用教科書の採択権者は市教育委員会であり、教科用図書採択取扱要綱に従って選定委員会は教科用図書調査委員会を設置し、2度の調査委員会を経てその内容について8月に行われた選定委員会で報告をしている。

Q 教科書採択の公正確保をどのように担保しているか。

A **教育部長** ●採択に直接の利害関係を有する者を除く方を委嘱している。公正性、透明性に疑念を生じさせる行動がないよう公正性を徹底することを確保したい。

Q 情報公開の取組、今後の教科書採択について選定理由やプロセス等の情報公開について伺う。

A **教育部長** ●公表については教科書採択後に本市ホームページにて情報を開示している。公表内容や方法については、今後も引き続き研究をしたい。

Q 公正性・透明性に疑念を生じないよう、市民に推薦理由が

ら採択の理由まで公表すべきでは。

A **教育部長** ●答申や採択については、選定委員会及び教育委員会が組織として行っている。経緯について公表することは、自由な意見を妨げることにつながるおそれもあり、途中経過、個々の意見についての公表をする考えはない。

今年度の市防災訓練を踏まえ

Q 今回の能登半島地震における、実際の避難行動について検証と対策や改善を考えているか。

A **市長** ●全職員を対象に今回の地震対応に関するアンケート調査を実施して検証作業を進めているところである。アンケート結果に加え、今年度中に県から、地震による人的、建物、ライフラインの被害や避難者数などの被害想定が示される予定である。

Q 野々市市避難所運営マニュアルの取扱いについて伺う。

A **総務部長** ●日常誰でも目に触れることができるよう本市HP上にアップをし誰でも見ることができるよう、運用したい。

Q 自宅から近くに避難の出来る屋内の一時避難所の確保

の推進と避難物資の設置の必要性について、本市の見解を伺う。

A **総務部長** ●公園や集会所以外にも、町内会において自主的に依頼された民間企業の店舗など各町内会が必要に応じて指定をしていただいている。各町内会の状況に合わせて対応していただきたい。

Q 日頃から実際の災害を想定した避難行動訓練が重要である。自主防災組織の活動が何より重要であり活性化するための働きかけが必要である。本市の見解を伺う。

A **市長** ●地域住民が自主防災組織として災害時に積極的に活動ができるよう、効果的な訓練方法や防災情報を自主防災組織や町内会へお伝えするなど、地域の実情に応じた支援を実施したい。

Q 自主防災組織が積極的に防災訓練ができるよう実施した場合の訓練費用の補助制度をつくるべきである。本市の見解を伺う。

A **市長** ●自主防災組織の資機材について、これまで支援を行ってきた。また、防災訓練のための費用についても、現在の補助制度の対象を少し拡大することができないか検討してまいりたい。

一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/9moxu1EQA3E>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

視察報告

(◎は委員長、○は副委員長)

スポーツ施設等特別委員会

日程：8月5日から6日まで
参加者：◎中村義彦、○木谷、三納、中村和流、畠中、朝倉、岩見
衆議院第二議員会館・国土交通省・内閣府・スポーツ庁によるレクチャー

中央公園拡張整備事業に利活用が検討できる様々な交付金や支援制度について講義をいただきました。

国土交通省からは、都市公園事業の支援及び防災・安全交付金の対象となる要件や補助率等の説明を受けました。

内閣府からは、PPP/PFI(官民連携) 推進に活用できる支援制度について、専門家の派遣や構想から基本計画策定までの検討や導入可能性調査等に利活用できる補助についての説明を受け、デジタル田園都市国家構想交付金の対象となる要件や補助率等の説明を受けました。

スポーツ庁からは、近年のスタジアム・アリーナ改革について、「多機能型」「民間活力導入」「街なか立地」「収益性改善」を目指した施設



づくりについての講義をいただきました。

群馬県太田市：OPEN HOUSE ARENA OTA (太田市総合体育館)

スポーツを通じ地域活性化の効果を発現できる、地域のシンボルとなることを目指して整備したアリーナであり、大規模災害にも対応しています。

管理運営は、アリーナは民間が行い、公園等のアリーナ以外の施設は市の団体が行っており、最大5,027席のアリーナでの事業収益により、今後、管理料の減額も期待されています。

野々市市議会

ハラスメント防止研修

ハラスメントとは、相手の人格や尊厳を侵す人権問題で、被害者が心身に支障を来し、最悪の場合には自死を選ぶ場合もあります。

野々市市議会では初めてとなるハラスメントに関する研修会を8月27日(火)に行い、市議会議員15人がハラスメントの本質を理解し、ハラスメントの防止に努め、議員の資質向上を図りました。

など性別による無意識の思い込み25項目を議員がチェックしました。

「議員と議員」、「議員と有権者」、「議員と職員」との関係などいくつかのケースが想定され、全国的に問題となっていることもあり、内閣府男女共同参画局が全国の地方議会議員から実際のハラスメント事例を収集し、その際に寄せられた1,324件の事例を基に作成された「政治分野におけるハラスメント防止動画」を視聴しました。

講師には、金沢人権擁護委員協議会白山部会の野々市市担当の人権擁護委員をお招きし、人権擁護委員による寸劇のほか、議員からの「ハラスメントは相手の受け取り次第で変わるのではないか」などの質問に回答いただきました。

- ① 仕事より育児を優先する男性は仕事へのやる気が低い
- ② 親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ
- ③ 女性に理系の進路(学校・職業)は向いていない





Q 議員が通夜、葬式の際に選挙区内の人（親族を除く）に対して供与する香典などは禁止されていますか？

A 議員が自ら出席し、直接供与する香典のみが罰則の対象から除かれています。

本人出席の場合でも、線香、花輪、生花の供与は罰則をもって禁止されています。

Q 神社の例祭に際し、玉串料を支払うと神主の祈祷とともに、境内に氏名を表示できますが、この場合、議員が玉串料を支払うことはできますか？また、境内に「〇〇町会 甲野乙郎」又は「市議会議員 甲野乙郎」と表示できますか？

A 当該玉串料が、神主の祈祷（役務の提供）に対する債務の履行（対価）と認められる場合に限り、寄附には該当せず差し支えありません。

市議会議員の肩書きを付した場合、法律が禁止している個人の政治活動用文書図画とみられるおそれがあります。

Q 町内会が町内の人たちにお祭りの寄附を募る場合、町内の政治家に対しても寄附を求めることはできますか？

A できません。また、政治家を威迫して寄附を求めた場合、処罰されます。

なお、「威迫」とは、「人に不安の念を抱かせるに足りる行為」をいうものと解されています。

Q 議員が、飲食を伴う選挙区内の町内会等の新年会、忘年会、〇〇祭等に出席し、会費相当額を出すのは可能ですか？

A 会費相当額の支払いは禁止された寄附に当たります。

Q 答礼のため、印刷した年賀状に政治家が署名したものを選挙区内の人に出すことはできますか？

A 答礼のため自筆によるあいさつ状は禁止されていませんが、印刷されたあいさつ状に単に署名するだけでは自筆によるものとは認められませんので、できません。

「高校生議会」を開催しました！

主権者教育の一環として、次代を担う高校生に、市政や市議会への理解と関心を高めてもらうとともに、様々な意見を今後の市議会での議論の参考とすることを目的として、**高校生議員の一般質問に市議会議員全員で答弁**させていただきました。

- 令和6年7月26日（金）午後2時30分から 野々市市議場
- 石川県立野々市明倫高等学校2年生15人（3人1組）
- 高校生の視点**から、日常生活において、**野々市市に望むことや改善点、疑問点**など

土屋 美音 議員：のっティバスのサイズを大きくして利便性の向上を

中山 実優 議員：道路の水たまりの解消及び歩道の整備について

橋本 優菜 議員：野々市市内の中学校における教室の不足の懸念について

笹川 隼平 議員：野々市市の水質とこれからの改善方針について

佐野 心音 議員：交番の増設について

碓井 友香 議員：野々市明倫高校前の横断歩道の箇所に信号機の設置を

橋本 早矢 議員：歩車分離信号の三納交差点における自転車と歩行者の通行について

細川 心 議員：野々市市の住みよさランキングについて

市村 美咲 議員：野々市明倫高校から南ヶ丘病院までの道路に街灯の設置を

酒谷 奏海 議員：今後のまちづくりについて

表 聖夏 議員：野々市市の一番の魅力について

松原 歩加 議員：シャトルバス「のんキー」の増便について

毛利妃奈子 議員：自転車が走行する通路の整備について

才木 悠生 議員：野々市市弓道場の雨よけ用テントの修繕について

村本 泰雅 議員：野々市中央公園を利用したイベント開催の推進について



●当日、栗貴章野々市市長から総評をいただきました。

●議会開催後のアンケートにおいても、大変高評価をいただきました。

●今後も市議会として継続実施できるよう計画していきます。

総務省
ホームページ

なるほど！選挙「寄附の禁止」

https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/naruhodo/naruhodo08.html



北陸新幹線の早期全線整備を求める決議

令和6年能登半島地震をはじめ、毎年日本各地で台風・豪雨等頻発している自然災害は未曾有の被害をもたらし、大きな影響を及ぼしている。現在、国を挙げての復旧・復興が急がれる一方で自然災害に備えた、これまで以上に災害に強い強靱な国土づくりが求められている。

北陸新幹線は東海道新幹線の代替補完機能を有する、災害に強い強靱な国土づくりに必要不可欠な国家プロジェクトであり、その効果は、大阪まで早期に全線開業してこそ最大限発揮されるものである。

また、温室効果ガスの排出量削減など地球環境時代に大きく貢献できるほか、大阪まで延伸することによる鉄道需要の増加と地方への経済波及効果は極めて大きいことから、早期に全線を整備し、日本海国土軸を確固たるものとしなければならぬ。

令和6年3月に金沢・敦賀間が

開業したところだが、敦賀以西の整備については、令和5年度当初の着工が見送られ、令和6年度予算においても建設費が盛り込まれない等、未だに着工のめどが立っていない。

依然として先行きが不透明な状況が続いていることに加え、現在の小浜・京都ルートの物価上昇を見込んだ概算事業費が概ね5兆3千億円程度、工期が概ね28年程度という当初の想定から大幅に上振れする試算が明らかになったことから、投資効果や収支採算性など着工5条件に関する詳細なデータを速やかに示し、条件の達成が困難となる場合は、現行ルートに固執することなく、改めて米原ルートも含め、着工5条件に合致する方策の再検討を行い、一日も早い大阪までの全線整備を強く求めるものである。

以上、ここに決議する。

令和6年9月27日

石川県野々市市議会

12月定例会の予定

会期：11月27日(水)～12月16日(月) (20日間)



日	月	火	水	木	金	土
11/24	11/25	11/26	11/27 午前10時～ 本会議 開会 生中継	11/28	11/29	11/30
1	2	3	4	5 午前10時～ 本会議 一般質問 生中継	6 午前10時～ 本会議 一般質問 生中継	7
8	9 午前10時～ 予算決算常任委員会	10 午前10時～ 総務産業常任委員会 午後2時～ 教育福祉常任委員会	11 午前10時～ 議会改革特別委員会 午後2時～ スポーツ施設等特別委員会	12	13 午前10時～ 予算決算常任委員会	14
15	16 午後2時～ 本会議 閉会 生中継	17	18	19	20	21

本会議は誰でも予約なしで傍聴できます。お気軽に傍聴ください。
インターネットで本会議の様子を生中継しています。

